



平成29年度 収支予算と事業計画(要約)

平成29年度予算・事業計画のポイント

【平成29年度 重点事項】 NHK経営計画(平成27年度～29年度)

1. 判断のよりどころとなる正確な報道、豊かで多彩なコンテンツを充実
2. 日本を世界に、積極的に発信
3. 新たな可能性を開く放送・サービスを創造
4. 受信料の公平負担の徹底に向け、最大限努力
5. 創造と効率を追求する、最適な組織に改革

【平成29年度 収支予算】

- 事業収入は、受信料の増収等により、前年度に対して101億円増の7,118億円
- 事業支出は、前年度に対して83億円増の7,020億円
国内放送や国際放送を充実し、4K・8K番組制作の強化やピョンチャンオリンピック・パラリンピック放送を実施する一方で、給与の削減をはじめ、事業運営の一層の効率化を推進
- 事業収支差金98億円は、平成30年度以降の新サービスの充実に備え、財政安定のための繰越金に繰入れ

収支予算(一般勘定)

(億円)

区 分	平成28年度 予算額	平成29年度 予算額	増減額	増減率
事業収入	7,016	7,118	101	1.4%
受信料	6,758	6,892	134	2.0%
その他の事業収入	257	225	△ 32	△ 12.5%
事業支出	6,936	7,020	83	1.2%
国内放送費	3,210	3,242	31	1.0%
国際放送費	248	256	7	3.2%
契約収納費	589	588	△ 0.4	△ 0.1%
給与	1,174	1,164	△ 9	△ 0.8%
退職手当・厚生費	617	658	40	6.6%
減価償却費	738	744	6	0.8%
その他の事業支出	357	365	7	2.1%
事業収支差金	80	98	17	—

区 分	28年度末見込み	取崩し	繰入れ	29年度末見込み
建設積立資産	1,707	—	—	1,707
財政安定のための繰越金	727	△ 125	98	700

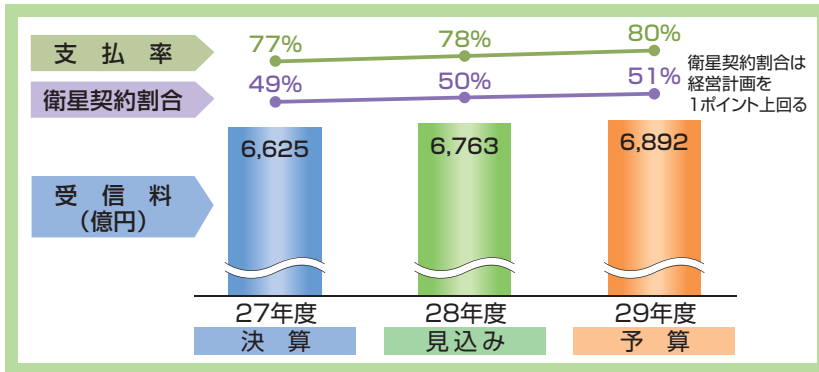
↓
建設費に使用

↓
事業収支差金を繰入れ

受信料収入（受信契約件数の増加等により6,892億円を確保）

- 営業改革の推進により、受信料の公平負担に向けた取り組みを徹底（支払率 80%、衛星契約割合 51%）

受信料収入等の推移



受信契約件数等の年間増減

区分	29年度 計画	29年度末
支払数 (A)-(B)	61	3,990
契約総数 (A)	50	4,078
未収数 (B)	△ 11	88
衛星契約数 ※特別契約を含む	60	2,079

1. 判断のよりどころとなる正確な報道、豊かで多彩なコンテンツを充実

「命と暮らしを守る」報道に全力を挙げ、被災地の復興を積極的に支援

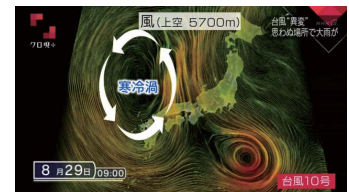
- 緊急報道体制を整備し、大規模災害時も放送を維持
- 東日本大震災や熊本地震などの被災地の現状と課題について継続して伝え、復興を支援



航空取材用ヘリからの中継による災害報道

日本や世界の課題に向き合い、新たな手法を活用して真相に迫る報道を充実

- 日本や世界が直面する課題に対し、確かな情報を提供し、多角的な視点を提示
- 広範な取材ネットワークと調査報道で、解決策を探るニュース・番組を制作
- ビッグデータの多角的分析等を駆使し、わかりやすく情報を提供



多様な情報を視覚化、調査報道・減災報道に活用

視聴者の幅広い期待にこたえて、見ごたえある魅力的なコンテンツを開発・制作

**ピョンチャンオリンピック
パラリンピック** 総合・BS1・スーパーハイビジョン試験放送等で放送
スーパーハイビジョンなど新技術による演出に挑戦

**主な
大型番組** NHKスペシャル「TOKYO REBORN」シリーズ
オリンピック開催で変わる東京の姿を4Kで記録

NHKG 平日午後の時間帯をライブ感あふれるゾーンに刷新
3時間の生放送番組「ごごナマ」〈月～金・後1～3時台〉

Eテレ データ放送・アプリと連携した“参加・体験するテレビ”の充実
「オトッペ」〈月～金・前8時台〉、「ポキャブライダー on TV」〈月・前5時台〉

BS1 2020年に向かう視聴者の関心にこたえるスポーツ番組の強化
「世界はTokyoをめざす」〈日・後8時台〉、「応援! ニッポンスポーツ」〈随時〉

**BS
プレミアム** スケール感あふれる多彩な大型特集番組を一層充実・強化
「スーパープレミアム」〈月1回 土・後7～11時台〉、「水曜インパクト」〈水・後8～11時台〉



放送局は、地域の「安全・安心の拠点」となり、地域活性化に積極的に貢献

- 防災・減災報道、緊急報道への取り組みを推進、ラジオ第1放送の「地域応援ゾーン」の充実
- 情報番組やドラマなどさまざまなジャンルの番組を全国、世界に向けて発信
- 老朽化した地域放送会館の建替え

熊本放送会館、仙台放送会館、静岡放送会館（29年度運用開始予定）

金沢放送会館、佐賀放送会館、大津放送会館、奈良放送会館、札幌放送会館（30年度以降運用開始予定）

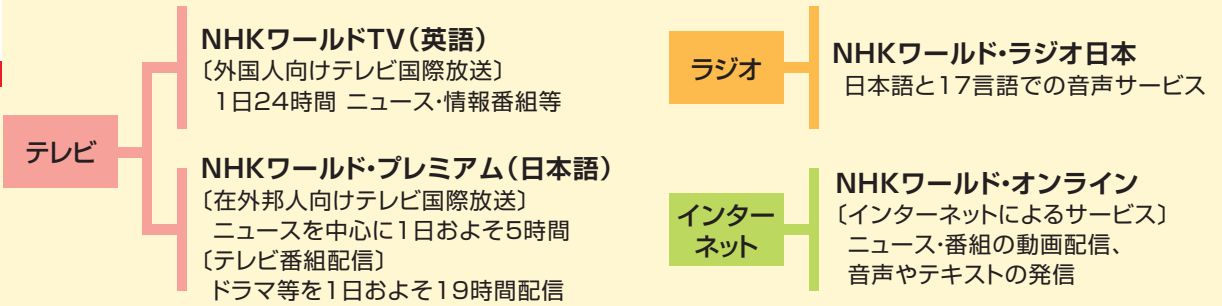


地域放送局のラジオ番組

2. 日本を世界に、積極的に発信(国際発信力の強化)



NHKの国際放送と海外発信



NHKワールドTV(英語:外国人向け放送)

- 日本やアジアからの情報発信の強化などニュースの一層の充実
- 地域から世界への発信の拡大
日本各地の暮らしや文化、自然などを紹介する番組を、月1回の放送から毎週放送に刷新
- 受信環境整備の推進・プロモーション活動の強化



「NHK NEWSLINE」
現地から伝えるキャラバンを実施



イベント出展に合わせ交通広告を展開(シンガポール)

NHKワールド・オンライン(インターネットによるサービス)

- 訪日外国人向けポータルサイトを新設
旅行、観光関連の番組情報など放送と連動したサービスを提供
- スマートフォン・タブレット端末向けアプリの拡充
- ビデオオンデマンドサービスの充実



スマートフォン/タブレット端末向けアプリ



タブレット端末による「NHKワールドTV」の放送同時提供の視聴

3. 新たな可能性を開く放送・サービスを創造

スーパーハイビジョン(4K・8K)

- 実用放送(平成30年開始予定)に向けたコンテンツ開発と技術検証を推進
- 世界に日本を発信する高品質の4K番組や新しい映像表現に挑戦する8K番組の制作を推進
- BS17chで試験放送を実施(午前10時~午後6時)
※全国のNHKの放送局等で視聴可能



スーパーハイビジョン試験放送

インターネット活用業務

- ニュース・災害情報発信の強化
- ピョンチャンオリンピック・パラリンピック等、スポーツの魅力や迫力を多角的に発信
- 大規模災害時の情報等を放送と同時に提供するほか、試験的に一部の番組で放送と同時に提供

NHK オンデマンド (有料配信する動画サービス)

「見逃し番組」

「大河ドラマ」等の番組を放送から14日間程度配信

「ニュース番組」

「NHKニュース7」等のニュース番組を放送から1週間程度「見逃し見放題パック」で配信

「特選ライブラリー」

過去の名作ドラマや大型ドキュメンタリー番組等を配信

テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレット端末等で利用可能
<https://www.nhk-ondemand.jp/>



スマートフォン/タブレット端末向け公式アプリ「NHKニュース・防災」

4. 受信料の公平負担の徹底に向け、最大限努力

- 契約収納体制の見直しなど営業改革を一層推進し、支払率80%を達成
- 視聴者のみなさまとの結びつきを強化し、ご意見を適切に事業運営に反映するとともに、公共放送や受信料制度への理解を一層深めていただくための広報活動を積極的に展開



NHKふれあいセンター



各放送局ハートプラザ

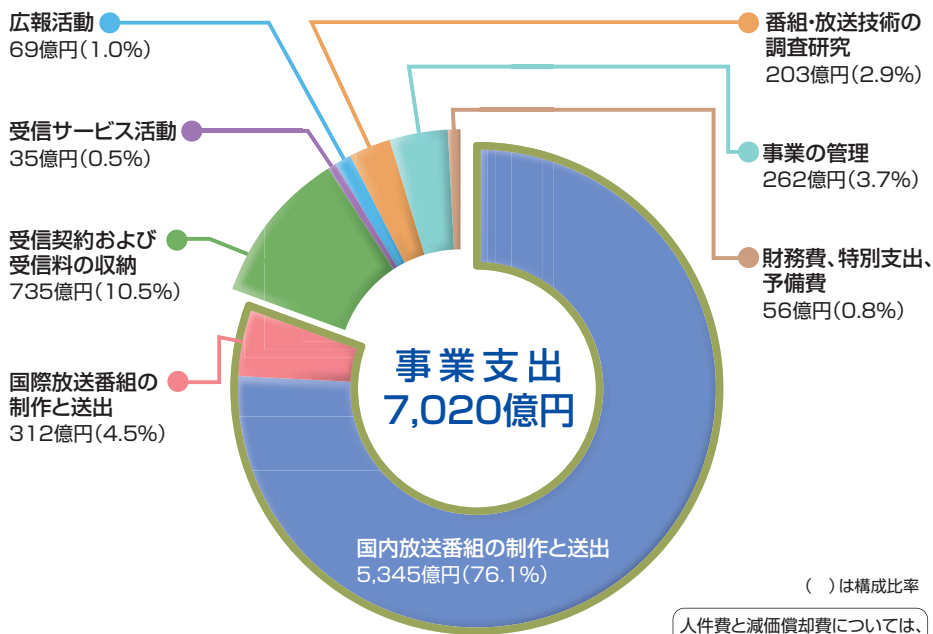
5. 創造と効率を追求する、最適な組織に改革

- コンプライアンスを徹底し、「放送ガイドライン」を順守
- 女性の積極登用を進め、仕事と生活の調和を実現し、多様な働き方ができる組織に改革
- NHKグループ経営改革の取り組みを推進
- 情報流出防止・放送継続を目的としたシステムのセキュリティ強化



平成27年4月に認定

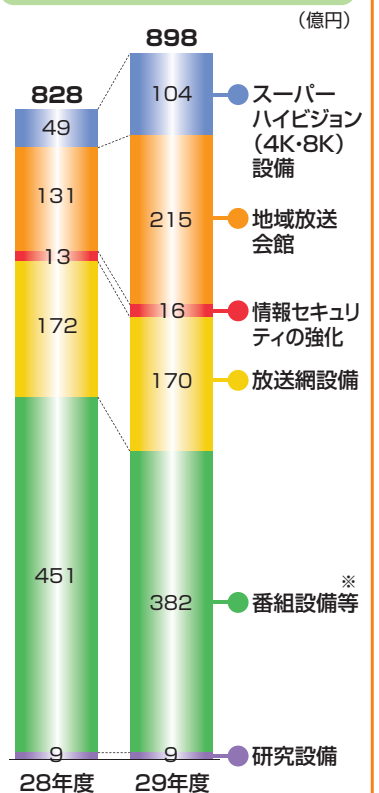
業務別予算



チャンネル別予算

チャンネル	総額	総合	教育 (Eテレ)	BS1	BSプレミアム	ラジオ第1	ラジオ第2	FM	スーパーハイビジョン試験放送	テレビ国際	ラジオ国際
29年度予算 ()は構成比率	5,657 (100%)	2,870 (50.7%)	654 (11.6%)	816 (14.4%)	536 (9.5%)	179 (3.2%)	52 (0.9%)	75 (1.3%)	160 (2.9%)	244 (4.3%)	67 (1.2%)

建設費 (設備投資)



※放送センター建替えを見据え、既存設備の延命等により放送センター番組設備等を圧縮

■ 東京・渋谷の放送センターの建替えについては、放送センター建替基本計画に基づき、着実に推進

予算や決算に関する詳しい資料はNHKホームページでご覧になれます。 <http://www.nhk.or.jp/pr/>